

問 限られた駐車スペースの確保は



答 案内看板の設置など解消に努める

新政とうかい 飛田 静幸 議員

問 3年前の議会で質問した役場駐車場について、池や花壇等を移動して高齢者や障がい者の方が安全に停められるスペースを確保し、駐車スペースを増やすことを提案した。が、未だ現状のままである。どのような検討をしたか。

答 臨時職員のための駐車場を旧教職員住宅跡地として整備し17台分確保するとともに、職員駐車場の空きスペースに臨時職員の駐車場を設け、一般来庁者の駐車台数を確保した。

問 確定申告と議会が重複する3月は混雑が予想される。議会棟南西にある一般駐車場の存在が来庁者に分からない状況であるので、誰にでも分かりやすい案内看板が必要ではないか。これから東海村



役場の駐車場は慢性的に混雑している

の人口は増えないかもしれない。だからと言って、現状のままが良いのか。余裕のある安全な駐車場の確保は必要である。

答 駐車場案内看板を設置し、混雑解消に努める。また、利用者の目線に立った駐車場のあり方を総合的に検討する。

問 病児保育施設 定員4人は現実的か



答 保育士・看護師の配置要件を勘案

無会派 清宮 寿子 議員

問 共働き家庭の増加で病気の子どもを預かるサービスへの需要は高い。しかし生後6か月から小学6年生を対象の定員4人は需要に充てられるのか。

答 児童3名に対し保育士1名以上、10名に対し看護師1名以上の職員配置や必要面積、受入体制等を総合的に判断し、最低限規模とした。

問 見込み需要の実態調査を実施したのか、また調査結果は。

答 仕事を休んで対処した親の6割が病児施設を利用したいと回答しているが、インフルエンザ等が流行する冬期に利用が集中し、夏期は少なくなるため季節によって著しく変化する。

問 需要人数は把握しているか。子育て支援に力を入れている村と

して、利用が多い冬期に合わせた受入れ体制が必要である。財政力指数1.52と県内1位の裕福な村であり、子育て支援に力を注ぐ財力は充分あるはず。今後の事業計画は。

答 明確な需要数は把握していない。今後は、柔軟な受入体制の検討や供用開始後の定員の見直しも必要に応じて行いたい。

